

劇団鹿殺し

# 田舎の侍

INAKA NO SAMURAI

OSAKA / 2012.9.27(thu) ~ 30(sun) HEP HALL  
TOKYO / 2012.10.4(thu) ~ 21(sun) 下北沢駅前劇場

## 公演企画書



【作】丸尾 丸一郎      【演出】菜月チョビ

【出演】オレノグラフィティ／丸尾 丸一郎／菜月チョビ／山岸門人／橋 輝  
傳田うに／円山チカ／坂本けこ美／山口加菜  
水野伽奈子／鷺沼恵美子／浅野康之／峰ゆとり／近藤 茶（以上、劇団鹿殺し）

丸山厚人／山本光二郎（コンドルズ）／美津乃あわ

【音楽】入交星士 オレノグラフィティ  
【公式サイト】<http://shika564.com>

お問い合わせ：株式会社オフィス鹿 TEL:03-6804-0064/FAX:03-6804-0074  
担当：高橋戦車 (MAIL:office@shika564.com)

## 【近年の劇団・作品評】

「千葉雅子にこういうことやらせたい、こんな峯村リエが観たい、みたいなことがいっぱいあって、それを見事に実現していた。あとは歌うんですよね、突然。ミュージカルとも違うし、音楽劇ともちょっと違う。でも、その歌がいちばん言いたいことだったりして、熱く伝わってくる。」

小田島恒志（『悲劇喜劇』2011年11月号 岸家の夏劇評より）

「情念たっぷりの演歌ロックを役者がマイクを握り熱唱、三姉妹以外の役者14人は4～10役を兼ね、総力戦の運動量で圧倒する。エンターテインメントに徹しつつ家族愛でホロリとさせる展開は巧み。」

山内則史（『読売新聞』2011年8月13日号 岸家の夏劇評より）

「混沌としたエネルギーが溢れる中に、苦しい状況があがく人間やタメな人間のおかしみと悲しさを描き出す。オリジナル音楽とダンス・パフォーマンスなどのエンターテインメント要素もたっぷりである。曲もパッチワークのように仕上げられ、いろいろな意味で劇団総力を挙げて舞台が作られていく。唐十郎が言うく刺さるような芝居くが若い感覚で描き出される。」

沢美也子（『すばる』2012年2月号より）





## <劇団鹿殺しよりお知らせです！>

長雨が続いておりますが、皆様におかれましてはお変わりございませんか。  
不況の荒波にもまれながらも、果敢に挑戦し続ける劇団鹿殺し。  
今年9月・10月に新作「田舎の侍」を上演することが決定しました！  
最新作の見どころをいち早くお届けします。

### ■劇団鹿殺しが駅前劇場に帰ってくる！

→ 紀伊國屋ホール・本多劇場にデビューしました！  
中劇場に進出し、前作では5,000人動員を突破した劇団鹿殺し。  
その鹿殺しが久しぶりに下北沢駅前劇場に帰ってきます！しかも3週間のロングラン！  
鹿殺しが間近で観れる、1ステージ150席限定の会場、今年最後の本公演、そして新作。  
10月の3週間、下北沢がお祭り騒ぎになること間違いなし！

### ■新作はロックオペラ×時代劇 「田舎の侍」！

駅前劇場の舞台で時代劇！？鹿殺し初の時代劇は  
歌って、踊って、早替えして、これぞ 鹿版・時代劇！

### ■劇団外部でも活躍する劇団員が総出演！

→ 劇団員ほぼ総出演。  
→ 劇団員・橋輝  
映画「モテキ」、「SR～ロードサイドの逃亡者～」の主人公のライバルのラッパーを  
つとめるなど活動の場を一層広げた劇団員が総出演。  
そして、舞台「7 DOORS～青ひげ公の城～」、テレビ東京「ゴッドタン キス我慢選手  
権」での熱演が話題となったオレノグラフィティ初主演！

鈴木勝秀演出、水夏希 & SUGIZO 主演

中卒、金髪の彼が  
主人公のイメージにピッタリだ！

作家丸尾九郎

ゲストに元唐組・丸山厚人、コンドルズの山本光二郎、  
ファントマの元看板女優・美津乃あわの3名をお迎えし、

今夏、「田舎の侍」が貴方の心を滅多斬りにします！

制作 高橋戦車

# ①はじめに

僕は、凹みやすく、嘘を付き、  
生き方に芯が無い。  
日々死ぬことを恐れて生きている。  
そんな僕の中に、  
侍の遺伝子は在るのだろうか？  
いや一体、今の日本人の幾人の心に  
侍は生きているのだろうか？  
そして僕は、無性に【侍】を  
探したくなったのです。  
名の知れた【侍】ではなく、  
この日本の地中に埋まって消えていった  
多くのマイノリティな【侍】を探し、  
彼らがどう生き、  
どう死んだのを覗き見て、  
我が身を正したいと考えている。

「田舎の侍」 劇団鹿殺しが  
時代劇でロングラン、初挑戦です。

作家 丸尾 丸一郎



## これまでの活動

2000年～2008年

2000年、兵庫県西宮市にて旗揚げ。旗揚げ初期は、つかこうへい作品を連続上演しその中で身体的パフォーマンスと圧倒的熱量という武器を見出し、第四回公演より、オリジナル作品へと移行。同時に、数々のイベントにも出演。インパクトの強い音楽劇的パフォーマンスを繰り返す。関西ではその個性的な活動が注目を集め始める。その結果2005年、異例とも言えるスピードでの東京進出を果たす。



上京後、週6日年間約1,000回以上の怒濤の路上パフォーマンスを敢行。TV朝日「ストリートファイターズ」では人気投票2位を獲得し、特集番組が放送され、ファン層を一気に広げた。

2007年9月、新宿スペースゼロで初の中劇場進出。河原雅彦など多彩な日替わりゲストを迎え、ロックミュージカル第十六回公演『殺ROCK ME! ～サロメ』を上演。2008年10月には第十八回公演『電車は血で走る』で青山円形劇場へ進出。そのノスタルジックな作品世界は高く評価され、当日券を求める列が連日つづいた。

2009年、第十九回公演『ベルゼブブ兄弟』で東京・神戸・大阪・福岡3,000人超の動員を記録する全国ツアーを成功させる。2005年より連続して出演中の関西最大野外ロックフェス『GOING KOBE 09』へ3度目の参加、2年ぶりの伝説の路上パフォーマンスも期間限定で復活。新ユニット「劇団鹿殺しRJP」の発足、1stアルバムの発売にまで至った。





## ②劇団鹿殺しの作品

### 老若男女の心を

### ガツンと殴ってギュッと抱きしめる

「人間愛」「家族愛」をテーマに描かれる劇団鹿殺しの作品。「人」、そして「家族」の抱える苦悩や葛藤を、土臭く不器用なキャラクター達を通して描きながら、骨太でロックなストーリーのもと、人間の愛おしさを感じさせる作品に仕上げている。

前作「青春漂流記」(2012年1月 於・紀伊國屋ホール)では、神戸元町高架下を舞台に、再起をかける商店街の人々の姿を描き、東京・大阪で**5,000人**の動員を記録した。現実と理想の間で葛藤する「同世代」の若者を、悲壮感の中にユーモアを織り交ぜ演じあげたこの作品は、高い身体能力を生かした独自のステージパフォーマンス、オリジナル音楽にのせて練り広げられる歌やダンスが加わることで一際艶やかなエンターテインメント作品に昇華。野菜やPCアイコンが擬人化するなど、ファンタジー要素が盛り込まれた演出も好評を博した。

また、「僕を愛ちて。～燃える湿原と音楽～」(2011年1月 於・本多劇場)における栗根まことのドラム演奏、「岸家の夏」(2011年7月 於・青山円形劇場)における千葉雅子・峯村リエの歌やアクションなど、ゲスト俳優のもつ意外な一面に着目し、その魅力を最大限に引き出す演出が話題となっている。

2010年に発表した『スーパースター』は**第55回岸田國土戯曲賞最終候補作**にノミネート。劇団員の外部活動も活発化し、本年は映画「モテキ」、PARCOプロデュース「TEXAS-テキサス-」(星野源/主演 長塚圭史/作 河原雅彦/演出)、「7DOORS」(水夏希・SUGIZO/主演 鈴木勝秀/演出)と話題作への出演が続いた。今、**演劇界において最も注目を集める劇団**である。

これら作品世界は、劇団鹿殺しでしか体現出来ないものであり、古田新太、中村勘太郎、篠井英介、水野美紀、坂井真紀、伊賀大介、奥菜恵、林家正蔵ら第一線で活躍する俳優・アーティストから熱い支持を得ている。

### これまでの活動

2010年

10周年記念公演・第1弾『スーパースター』を上演。劇団鹿殺しのもつエンターテインメント性・音楽性を強く打ち出した作品で、全ステージ満員御礼の快挙を達成。3月には丸尾丸一郎がPARCO presents「カフカの『変身』」(主演：森山未來)に出演し話題に。6月、野田秀樹氏が芸術監督を務める東京芸術劇場における若手劇団選抜企画「芸劇eyes。」に代表作『電車は血で走る』で参加。4,000人の動員数を記録した。

2011年

1月、本多劇場に初進出。楽隊による生演奏の中練り広げられる愛を求めるストーリーは多くの共感を呼び、全ステージ満員御礼となった。7月には夏の女優祭りと題し、新作「岸家の夏」を発表。現代の女の生き様を力強くロックに歌いあげた今作は、評判が口コミで広がりキャンセル待ちの列が連日続いた。



(「岸家の夏」@青山円形劇場 より)

2012年

1月、紀伊國屋ホール初進出を果たし、「青春漂流記」上演。ゲストに高田聖子(劇団☆新感線)を迎え、神戸元町高架下商店街を舞台に再起かける人々の物語が好評を博す。東京・大阪をあわせ5,000人の動員を記録した。



(「青春漂流記」@紀伊國屋ホールより)

## ③劇団員紹介～作家・演出家

### 丸尾 丸一郎（作・出演）



1977年5月1日生まれ 大阪府出身

劇団鹿殺し座付き作家。「人間愛」、「家族愛」をテーマにした作品は高い評価を受け、2010年に書き下ろした戯曲「スーパースター」が第55回岸田國士戯曲賞最終候補にノミネートされ、作家としての地位をゆるぎないものに。また、狂気と色気を含んだその演技には定評がある。

今年3月には「《神戸の視点》実践!演劇プロデューサーへの道 2011」が取り組むプロデュース公演第一弾「地中」（角ひろみ作）の演出に抜擢されるなど、その活動の幅をさらに広げている。

#### 【主な出演作】

2010年3月 PARCO presents「カフカの『変身』（森山未來主演）出演  
2011年9月 映画「モテキ」（大根仁監督、森山未來主演）出演  
2012年6月 KOKAMI@network「リンダリンダ」（松岡充主演）出演

### 菜月チョビ（座長・演出・出演）



1978年5月3日生まれ 福岡県出身

2000年1月 劇団鹿殺し旗揚げ、座長をつとめる。以降、劇団鹿殺しの活動をプロデュースし、牽引。劇団鹿殺しの作品のエンターテインメント的要素の中核を担う。また、新感線プロデュースいのうえ歌舞伎☆號『IZO』においては劇中歌をつとめるなど、歌唱力には定評がある。

近年では、「PLAYPARK2012 ～日本短編舞台フェス～」の発起人となり中核メンバーとして企画に関わるなど、プロデューサーとしての資質も垣間見せている。2009年より「シアタービューフクオカ」、今年より「KEP」にてコラム連載するなど、執筆活動もおこなう。2012年度ENBUゼミ演劇コース講師を担当、日本の演劇界に常に刺激を与える存在である。

#### 【主な出演作】

2008年3月 「燻し銀河」（松村武 作・演出）出演  
2008年6月 G 2 プロデュース

「A Midsummer Night's Dream～THEじゃなくてAなのが素敵～」  
(G2演出、山内圭哉・神田沙也加出演) 出演

## ④劇団員紹介～俳優ほか

### オレノグラフィティ（出演・音楽）



1984年12月6日生まれ 兵庫県出身

舞台上では情熱的な演技と繊細な芝居を組み合わせ、観客を魅了する。昨年はTV東京系列「ゴッドタン」内人気企画「キス我慢選手権」の仕掛け人として出演、平成ノブシコブシ・吉村と共演しエキセントリックな演技が話題に。また、劇中の歌唱曲の編曲や楽隊の編曲もおこなうなど音楽的才能も注目されている。今作、入団8年目にして初主演をつとめる。

【主な出演作】

2012年3月 「7 DOORS」（鈴木勝秀演出、水夏希・SUGIZO主演）出演

2011年9月 映画「モテキ」（大根仁監督、森山未来主演）出演

2011年2月 tsumazuki no ishi「カゲロウの黒犬」（寺十吾演出）出演

2009年10月 \*pnish\*「マハラジャモード」出演

### 山岸門人（出演・振付）



1982年3月31日生まれ 東京都出身

バレエ、ダンスなど高い身体能力とリズム感による身体パフォーマンス、特異な声を武器に舞台、映画、アニメ、LIVEなど幅広く活動している。劇団では振り付けも担当。

【主な出演作】

2012年3月 PARCOproduce「TEXAS」（長塚圭史/作 河原雅彦/演出 星野源/主演）出演

2011年9月 映画「モテキ」（大根仁監督、森山未来主演）出演

2011年6月 青山円形劇場プロデュース「CLOUD-クラウド-」（鈴木勝秀/構成・演出）出演

他、TVアニメ「新テニスの王子様」「家庭教師ヒットマンREBORN!!」出演

### 橋輝（出演・小道具）



1986年3月22日生まれ 茨城県出身

高い運動能力、俊敏性を兼ね備え、スピーディーな芝居で老人から少年まで幅広く演じる。今年4月公開「SRサイタマノラッパー ロードサイドの逃亡者」（入江悠監督）では、ラップグループ「極悪鳥」のリーダーを好演。劇場公演では小道具も担当。

【主な出演作】

2012年4月 「SR～ロードサイドの逃亡者～」（入江悠監督）出演

2011年9月 映画「モテキ」（大根仁監督、森山未来主演）出演

他、TV東京系「ゴッドタン マジ歌選手権」、「さぼドル」出演

### 傳田うに（出演・衣装）



1984年1月17日生まれ 長野県出身

演劇倶楽部『座』付属研究所にて朗読、日本舞踊、新内浄瑠璃、狂言を学ぶ。人間味溢れる演技と日舞を主としたきめ細やかな所作で観客を魅了する。20代でありながら、特に母親役に定評がある。また、映画「モテキ」ではリリー・フランキーの浮気相手を好演。劇場公演では衣装も担当。

【主な出演作】

2011年11月 イベント「無差別級紙芝居の夜明け」出演、総合2位に入賞

2011年9月 映画「モテキ」（大根仁監督、森山未来主演）出演



## ⑤ ゲスト紹介



### 丸山厚人

1980年1月21日生まれ 大阪府出身

2001年に唐十郎率いる劇団「唐組」に入団。

2001年～2008年までの8年間、紅テントでの全公演に出演。

圧倒的な声量と豊かな体躯をいかしたダイナミックな演技、唐戯曲独特の詩的なモノローグを切れの良い語り口で伝える力に定評があり、若手看板俳優として人気を博した。

退団後も大阪松竹座、椿組、劇団第三エロチカほか数々の舞台に参加、近年はテレビドラマ等にも活動の場を広げている。

今年6月に流山児事務所「さらば豚」、8月に月影番外地「くじけまみれ」に出演。劇団鹿殺しには、2009年の「赤とうがらし帝国」以来2度目の出演となる。



### 山本 光二郎 (コンドルズ)

1967年生まれ 大阪府出身

奈良教育大学大学院で教育学専攻。体育学修士。99年からダンスカンパニー「コンドルズ」参戦。抜群の運動神経とリズム感で、優美なダンスを披露する。古着のバイヤーでアメリカに自分の会社を持ち、社長。英語は当然ネイティブレベル。バンドプロジェクト・ストライクのサックス担当。最近では

『GQ』などのファッション誌にモデルとしても登場。

NHK総合「サラリーマンNEO」内「テレビサラリーマン体操」レギュラー出演。映画「極道めし」に出演するなど、活動の場を広げている。今作が舞台初出演となる。



### 美津乃 あわ

1968年1月19日生まれ 兵庫県出身

関東・関西を中心に活動する舞台女優。ハードボイルドエンターテイメント劇団『ファントマ』の看板を1996年の創成より他の追隨を許さず12年間務め、関西小劇場界の一時代を築き上げた。2008年1月に同劇団を退団。今や小劇場界の破壊女王として君臨し、妖しい美貌と魅惑の低音ボイスですべての聴衆を魅了。与えられた役柄の悲哀と笑いを自由に操る怪女優。2004年には、得意の歌を生かしCD『アイノウタ』をリリース。ライブ活動も行う。

TV・CM・ラジオ番組の出演等、舞台以外も活躍中。自らの舞台の企画・プロデュースや多方面での、作・演出の才能も発揮。現在も二人芝居等の作・演出を手掛けるなどして上演し続けている。2011年にはABCホールプロデュース 美津乃あわ二人芝居『レス～懲りない生き方～』にて、作・演出・主演を務める等、勢力的に活動中。



## ⑥公演概要

■作 丸尾丸一郎

■演出 葉月チョビ

■出演

オレノグラフィティ／丸尾丸一郎／葉月チョビ／山岸門人／橋輝／傳田うに／  
円山チカ／坂本けこ美／山口加菜

水野伽奈子／鷺沼恵美子／浅野康之／峰 ゆとり／近藤 茶（以上、劇団鹿殺し）

丸山厚人／山本光二郎（コンドルズ）／美津乃あわ

■音楽 入交星士 オレノグラフィティ

■日程・チケット

大阪会場 **HEP HALL** 運営協力／サンライズプロモーション大阪

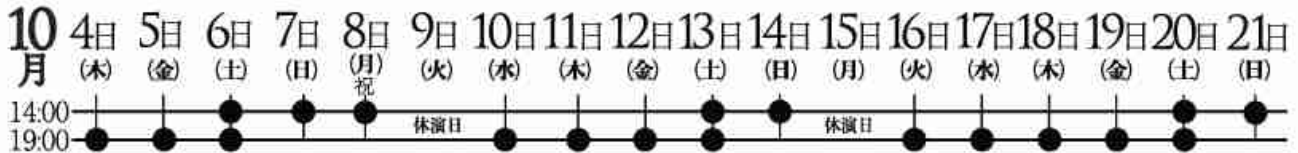


前売・当日  
全席指定席 **4,200円** (学生 3,500円)  
一般発売後に、公式サイトで取扱

一般発売 7月29日(日)AM10:00開始

■受付開始・当日券販売は開演の60分前より、開場は開演の30分前より

東京会場 **下北沢駅前劇場**



劇団先行販売

6月30日(土)10:00～7月8日(日)24:00

一般発売

7月29日(日)10:00～

【取り扱い】

劇団鹿殺しHP、チケットぴあ、  
イープラス、ローソンチケット、  
Confetti（東京公演のみ）、  
CNプレイガイド（大阪公演のみ）

■スタッフ

舞台監督／野口 毅・上嶋倫子

照明／黒尾芳昭 音響／鍋木知宏

衣裳／赤穂美咲 ヘアメイク／宮内宏明

舞台撮影／彩高堂 舞台写真／和田咲子

宣伝写真／江森康之 制作協力／SUI・辰田明子

制作／高橋戦車

運営協力（大阪公演）／サンライズプロモーション大阪

企画製作／劇団鹿殺し

主催／株式会社オフィス鹿

■お問い合わせ

株式会社 オフィス鹿

〒155-0032 東京都世田谷区代沢5-10-14 秋田ハウス101

(tel: 03-6804-0064 / fax: 03-6804-0074 / e-mail:

office@shika564.com)